

科目名称	総合プロジェクトA~D			授業コード	
担当教員					
単位数	1.0	授業形態	演習	科目分類	芸術工学基礎／社会参加・キャリア形成
年次	1	開講年度	2020	開講学期	
関連資格					
履修制限等					
授業の目的と到達目標(学修成果)	社会の現場でさまざまなプロジェクトを展開・運用する実践力、協同作業等の技術、コミュニケーション能力を習得する。				
授業の概要(内容)	この授業は、主に産官学連携などの大学の枠組みを超えた“プロジェクト”の実践を通じて、デザインやアートに対する自らの可能性や意識を発見し、専門的で高度な知見と広い視野を身につけようとするものである。各プロジェクト毎に集中的な取り組みを行う。				
授業計画	<p>&lt;2019年度実施例の一部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ「木を削る」</li> <li>・トランジット・アートサイクルワークショップ</li> <li>・西脇プロジェクト(番博ワークショップ、西脇市岡之山美術館ワークショップ、ふれあいフェスティバル播州織ファッションショーほか)</li> <li>・明石城築城400周年記念事業「光の明石城」メインオブジェ・明石城キャンドルナイト</li> </ul>				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	各プロジェクトより適宜指示。				
評価方法	各プロジェクトの担当教員が、参加態度、貢献度、到達目標の達成度等から総合的に評価する。				
課題・試験に対するフィードバックの方法					
使用テキスト					
参考テキスト・URL					
各自準備物					
実習費					
その他	各プロジェクトの担当教員より募集の案内があるので、掲示に注意すること。 プロジェクトの開催、参加時期は一定ではない。 履修登録の必要のない時間割外科目となる(学期毎に単位認定を行う)。				

科目名称	キャリアデザインA	授業コード	20001643
担当教員	前田 博美		
単位数	2.0	授業形態	講義 ペアワーク グループワーク
年次	1	開講年度	2020
開講学期		開講学期	後期
関連資格			
履修制限等			
授業の目的と到達目標(学修成果)	<p>[授業の目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人の基本的習慣を身につける(挨拶・礼儀など)</li> </ul> <p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭で考えたことを整理して話すことができるようになる</li> <li>・「話すこと」と「伝えること」の違いを理解できるようになる</li> </ul>		
授業の概要(内容)	<p>「自分を深く知る」と、「社会参加への接近」をテーマに自己理解と社会に出るための基礎を深めます。これからの大学生活をより有意義なものにし、また、将来の目標を明確にすることで、実社会に主体的に参画していくための動機付けを行います。</p> <p>この授業では、人とのコミュニケーションを通して、社会人として求められる能力の気づきや上達する方法を学びます。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1: キャリアデザインって何でしょう？</li> <li>2: 人生観・職業観について</li> <li>3: 初めての自己分析・・・自分を知ろう！</li> <li>4: 自己分析その2・・・エゴグラムをやってみよう！</li> <li>5: 「社会人基礎力」ってなんだらう？</li> <li>6: 社会が求める人物像と自分の強みを比べてみよう！</li> <li>7: 伝える難しさを知ろう！①伝えることを準備しよう！</li> <li>8: 伝える難しさを知ろう！②「PREP 法」で整理してみよう！</li> <li>9: インタビューしてみよう！</li> <li>10: インターンシップについて(在校生報告会)</li> <li>11: チームワークを考えよう！</li> <li>12: 「好きなこと」と「やりたいこと」、そして、コミュニケーション能力とは？</li> <li>13: 学校の外にも視野を広げよう！(卒業生の話)</li> <li>14: 自分のこれからのキャリアデザインする！(目標設定)</li> <li>15: 総括2年生に向けて</li> </ol> <p>※10、13のインターンシップと卒業生のスケジュールにより、内容が前後することがあります。</p>		
実務経験のある教員	<p>メーカーの経営企画及び人事部及び独立してからの採用業務での経験を活かし、実際の社会に出るために必要な知識や心構えを就職活動への導入部分として、具体的に身につく講義及びグループワークを行う。</p>		
授業時間外学習	<p>配布資料を読み返し、復習し、何度でも、考えてみる事が望ましい。</p> <p>また、webサイトや新聞などで、日々の広い範囲のニュースを知ることを習慣とする。</p>		
評価方法	<p>ワークシート等の課題提出とその内容で評価します。</p> <p>毎回の授業内容の質問への解答60%、授業の感想・意見コメント記入提出40%。</p> <p>出席回数10回以下で評価欠格条件となりますので、単位修得出来ません。注意してください。</p>		
課題・試験に対するフィードバックの方法	<p>次回の授業日に、特徴的なコメントや質問について、紹介及び回答する。</p>		
使用テキスト	<p>プリント配布</p>		
参考テキスト・URL	<p>オリジナルテキストの配布</p>		
各自準備物			
実習費			
その他	<p>授業中の私語については厳しく指導します。グループワークやペアワークを中心とした講義です。</p> <p>上記の授業計画は受講者の状況で変更することもあります。</p> <p>20分以上遅刻した場合は、欠席扱いとします。遅刻2回で欠席1回の扱いとします。</p> <p>授業を5回以上欠席したものは失格とみなし、評価の対象にはならないので注意すること。</p>		

科目名称	キャリアデザインB		授業コード	20001644	
担当教員	木村 早苗				
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	学修基礎／社会参加・キャリア形成
年次	2	開講年度	2020	開講学期	後期
関連資格					
履修制限等					
授業の目的と到達目標(学修成果)	<p>授業の目的: 組織や地域社会の中で、多様な人々と仕事をする上で必要となる基礎的な能力＝『社会人基礎力』の向上を図るとともに、自己理解を深めることを目的とします</p> <p>到達目標: ①チームで課題を解決するのに必要な力を理解し、主体的に関わることができる ②発信力・傾聴力・柔軟性を発揮しながらディスカッションやプレゼンテーションができる ③時事問題や業界動向などについて、自身の考えをまとめることができる ④自身の強みを活かし、弱みを改善するための計画を立て、実行することができる ⑤挨拶や言葉づかい等、マナーを意識することができる</p>				
授業の概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループディスカッションで、コミュニケーション能力を高める</li> <li>・チーム活動(PBL)で、『前に踏み出す力』『考え抜く力』『チームで働く力』を高める</li> <li>・卒業生やインターンシップ経験者の講話から気づきを得る</li> </ul>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1:オリエンテーション、コミュニケーションの重要性</li> <li>2:初対面に強くなる</li> <li>3:話を聴く、わかりやすく伝える</li> <li>4:社会人基礎力チェック、私の強み</li> <li>5:採用選考でチェックされること、プチ模擬面接</li> <li>6:採用担当者の立場で考えてみよう【採用会議体験】</li> <li>7:社会人の話を参考にしよう【卒業生講話】</li> <li>8:PBL ①【チーム分け・課題提示・情報収集】</li> <li>9:PBL ②【課題の立案】</li> <li>10:先輩の話を参考にしよう【インターンシップ事後報告会】</li> <li>11:PBL ③【中間プレゼン・立案の検証と修正】</li> <li>12:PBL ④【プレゼンテーション】</li> <li>13:PBL ⑤【振り返り】</li> <li>14:履歴書・エントリーシートの書き方</li> <li>15:3年生に向けての目標プレゼンテーション、まとめ</li> </ol>				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気になるニュースや業界動向について自ら調べ、感想や見解とともに発表する「ニュースプレゼンテーション」のためのシート作成</li> <li>2. 時間の使い方を直し、目標に向かって行動するための「タイムマネジメントシート」作成</li> <li>3. PBL での打ち合わせ</li> <li>4. 模擬面接のための準備</li> <li>5. 履歴書やエントリーシート記載のための「自己PR」などの作成</li> </ol>				
評価方法	<p>平常点50%、プレゼンテーション20%、課題提出30%で評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平常点は、発言の積極性・チーム活動における貢献度・振り返りシートの内容等で評価する(遅刻・早退は減点対象)</li> <li>2. 出席回数9回以下は平常点を0点とする</li> </ol>				
課題・試験に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「振り返りシート」は、次の授業時に印象的なコメントを紹介、質問などがあれば回答する</li> <li>・「提出課題」は、必要に応じてコメントをつけて返却する</li> </ul>				
使用テキスト	オリジナルテキストの配布				
参考テキスト・URL					
各自準備物					

実習費	
その他	<p>※上記の授業計画は、受講者数や受講者の状況で変更することがある</p> <p>※この授業は社会に出るための準備の場と考え、積極的な参加とルール順守を求める</p> <p>①時間を守ること。遅刻2回で欠席1回、20分以上の遅刻は欠席扱いとする</p> <p>②挨拶をすること</p> <p>③提出物の納期を守ること。期限を過ぎた場合は減点する</p> <p>④私語、飲食、携帯電話など授業運営を乱す行為は慎むこと</p>

基礎教育

科目名称	インターンシップA~D			授業コード	
担当教員					
単位数	1	授業形態	演習	科目分類	学修基礎 /社会参加・キャリア形成
年次	1	開講年度	2020	開講学期	
関連資格					
履修制限等					
授業の目的と到達目標(学修成果)	実際の仕事を通して専門知識を高め、一層の学習意欲と就職に対する意識を喚起し、実社会において必要とされる高い職業意識、自立心と責任感を育成する。				
授業の概要(内容)	インターンシップとは、在学中に企業や団体などで、みずからの専攻分野や将来のキャリアに関連した就業体験を行う制度である。 各研修(事前・マナー・事後)に参加し、同一機関で5日以上かつ30時間以上のインターンシップを行い、教育上有益であると認められる成果をあげた場合、単位を認定する。(給与が支給されるインターンシップはこれに該当しない。)				
授業計画					
実務経験のある教員					
授業時間外学習	インターンシップに参加する前に受入機関の『実習の内容』 『企業研究・業界研究等』について調べておくこと。また必要なマナー・礼儀をひとつと理解し体得しておくことが望ましい。				
評価方法	各研修(事前・マナー・事後)に参加し、同一機関で5日以上かつ30時間以上のインターンシップを行い 実習日誌 と レポート を提出し、受入機関の実績表の評価と総合して認定する。				
課題・試験に対するフィードバックの方法					
使用テキスト					
参考テキスト・URL					
各自準備物					
実習費					
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップの参加時期は受入スケジュールが受入機関毎に異なるため、履修登録の必要のない単位認定科目(時間割外科目)となる。</li> <li>・単位認定を希望する場合は必ず事前にキャリアセンター室へ申請すること。 (受入先機関に単位認定に関するインターンシップの受入に関する合意が得られない場合は実施不可。)</li> <li>・「インターンシップA・B」は1~4年次、「インターンシップC・D」は2~4年次(2018年度以前入学生)を対象とする。</li> </ul>				